

孝昭天皇 掖上博多山上陵見張所改築工事に伴う立会調査

孝昭天皇掖上博多山上陵は奈良県御所市大字三室に所在する。葛城・金剛山系から東に向かう緩傾斜面の先端にある独立丘陵上に位置し、形状は山形である(第40図)。近隣には弥生～古墳時代の集落や墓をふくむ鴨都波遺跡が存在することから、さまざまな状況を想定しつつ、慎重に調査にあたった。

今回の調査は一般拝所内に所在した見張所が経年のため老朽化し、改築されることになったためおこなったものである。調査箇所は見張所改築箇所や排水管・排水桝設置箇所など9箇所であるが(第41図)、内容が重複するため3箇所(A・B・C地点とする)について報告する。

基本層序はⅠ層(表土)、Ⅱ層(旧見張所建築時の盛土)、Ⅲ層(参道整備時の盛土)、Ⅳ層(旧表土)、Ⅴ層(花崗岩バイラン土の地山)となっている。

見張所改築箇所であるA地点では、西壁でⅠ、Ⅱ、Ⅴ層を、北壁でⅡ、Ⅴ層を確認した。B地点ではⅠ、Ⅲ層を確認した。C地点では、Ⅰ、Ⅲ、Ⅳ、Ⅴ層を確認した(第42図)。

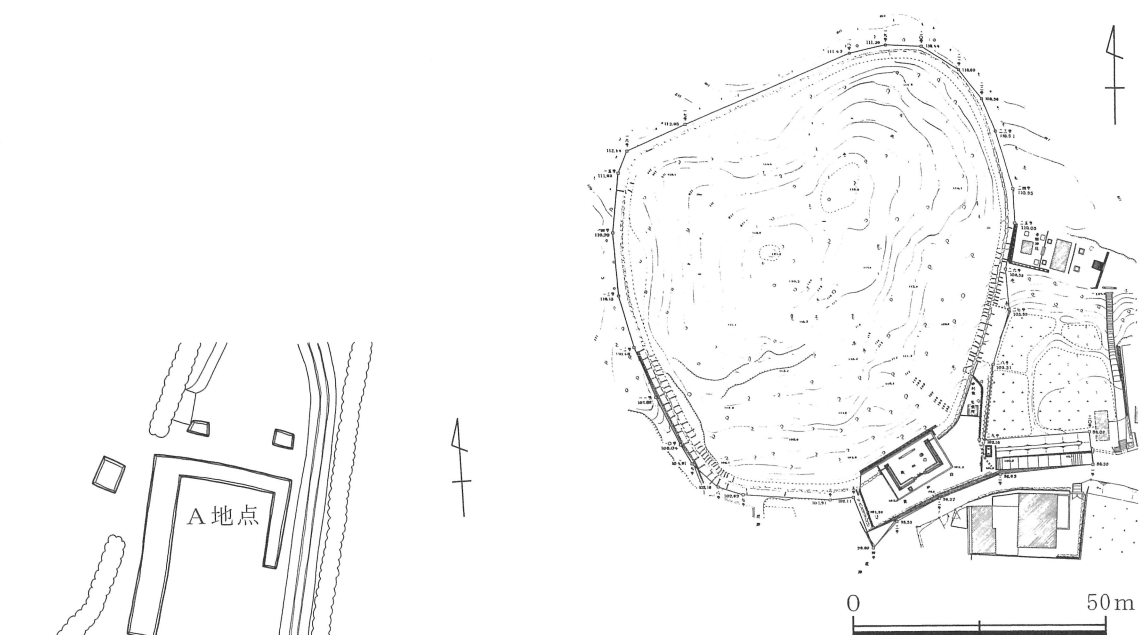
このように見張所周辺では旧見張所建築時に地山を整地して盛土をほどこしていることが確認できた。また、参道脇ではC地点で地山、旧表土(時期不明)の上に参道整備時の盛土がなされていることを確認した。C地点以外の参道脇では工事による掘削は参道整備時の盛土の範囲内にとどまることを確認した。A、B、C地点をふくむ全ての調査箇所において遺構・遺物は確認されなかった⁽¹⁾。

これらの結果を踏まえ、工事は予定通り施工した。

(加藤一郎)

註

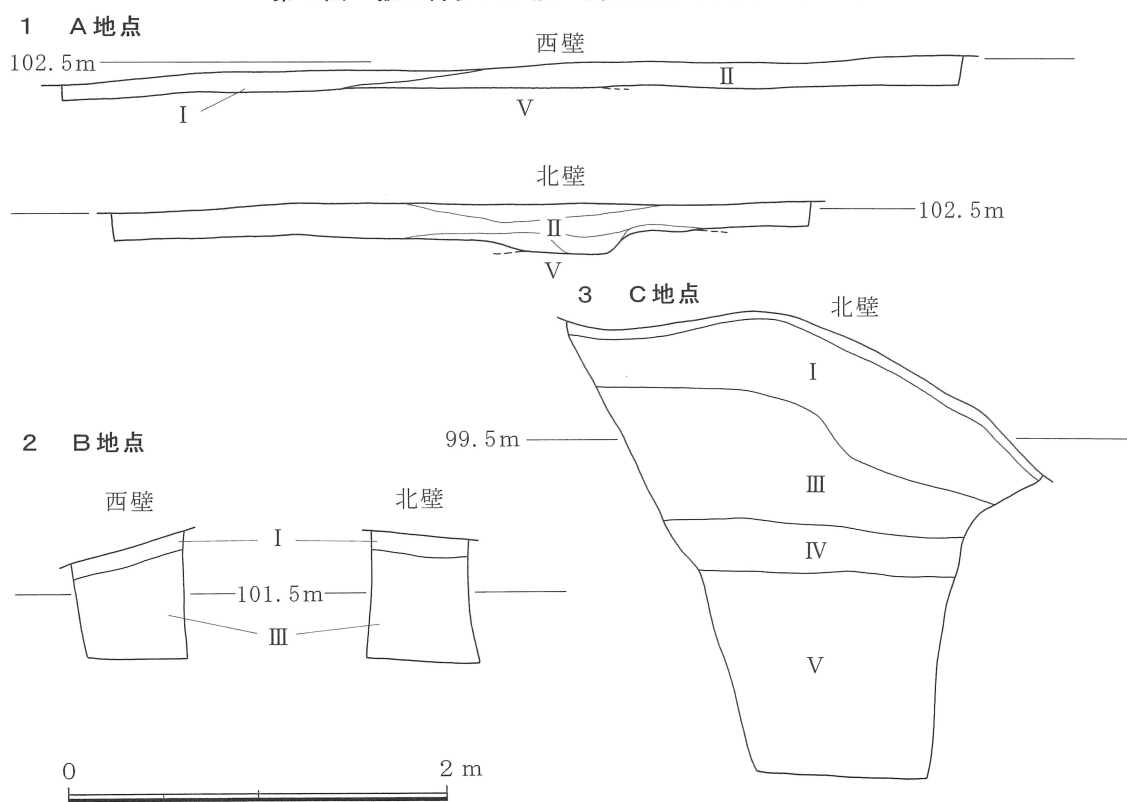
(1) 調査中、御所市教育委員会の藤田和尊氏、木許守氏が来陵され、ご確認いただいた。



第40図 掖上博多山上陵 地形図 (1/1500)



第41図 掖上博多山上陵 調査箇所平面図 (1/200)



第42図 掖上博多山上陵 調査箇所断面図 (1/40)